

# SHOWWA

SHOWWA  
PAXXS

第123期

## 株主の皆様へ

2018年4月1日～2019年3月31日

私たち昭和パックスは、産業用包装資材のトップメーカーとして、  
リサイクルしやすい製品、HACCPを重視した製品で、  
「地球環境保全」「総合衛生管理」をこれからもリードしていきます。

# PAXXS

昭和パックス株式会社



## Top Message

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
 当社は第123期（2018年4月1日～2019年3月31日）を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大西 亮**

当社は創立以来、産業用包装容器メーカーとして事業の拡大に務め、業界・地域の発展に貢献してまいりました。「常にお客様への感謝の心を持ち、品質保証と物流の革新を通して、社員の成長を求め、社会に貢献する」という企業理念のもと、社員が一致団結し、独立企業としての研鑽を重ねることで、顧客の信頼を獲得するとともに、社業および社員の生活発展を通して、社会貢献を目指していきます。

Since 1935

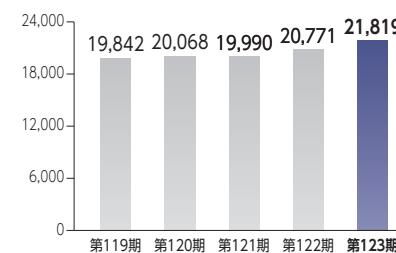
## 創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありませんが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

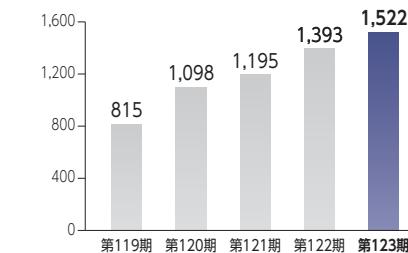
## //// 今期の業績

当社グループの今期の業績は、売上高21,819百万円(5.0%増加)、営業利益1,522百万円(9.3%増加)、経常利益1,669百万円(9.7%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益1,154百万円(12.5%増加)となりました。

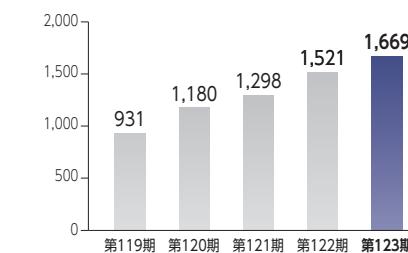
売上高 (単位:百万円)



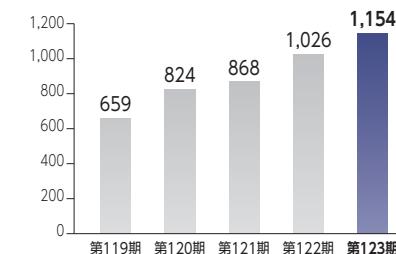
営業利益 (単位:百万円)



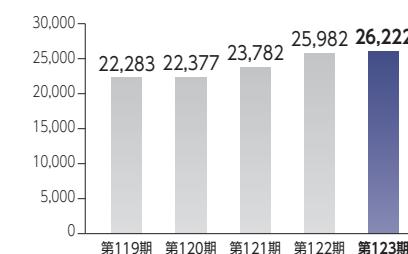
経常利益 (単位:百万円)



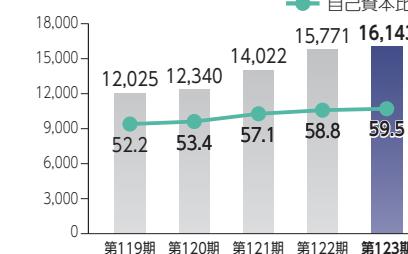
親会社株主に帰属する  
当期純利益 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



純資産(単位:百万円) / 自己資本比率(単位:%)



## //// 来季の見通しと課題

景気減速の気配が徐々に強まっており、景気の動向は当社グループの顧客の生産活動に直結するため、楽観はできません。また当社グループにとっては原材料価格の動向が損益に大きく影響しますが、原材料環境も予測が困難な状況にあります。

このように、次期も当社グループの事業環境は容易なものとは言えませんが、将来を見据えた設備投資を含め、グループ全体で取引の維持拡充と適切な利益の確保に努めてまいります。

当社グループの次期の業績は、売上高22,000百万円(伸長率0.8%)、営業利益1,500百万円(伸長率△1.5%)、経常利益1,630百万円(伸長率△2.3%)、親会社株主に帰属する当期純利益1,120百万円(伸長率△3.0%)を見込んでおります。

### < 来季の見通し >

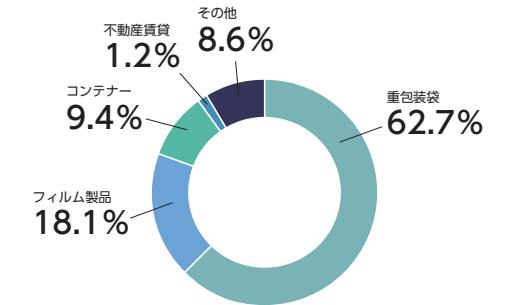
売上高	22,000百万円 (伸長率0.8%)
営業利益	1,500百万円 (伸長率△1.5%)
経常利益	1,630百万円 (伸長率△2.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,120百万円 (伸長率△3.0%)

# セグメント情報

## “産業用パッケージのリーディングカンパニー”として

当社は1935年の設立以来83年の歴史を持つ、産業用パッケージのリーディングカンパニーです。高い技術力と開発力で、常にトップを走り続け、物流包装界のリーダーとして確固たる地位を確立しています。企業間取引が中心ですが、優良な得意先企業群は、昭和パックスに対する信頼の表れです。「顧客に支持され、社員に愛され、社会に貢献する会社であり続けること」を基本方針として、これからも前進を続けていきます。

売上高	重包装袋	13,679
<b>21,819</b> 百万円	フィルム製品	3,941
	コンテナ	2,048
	不動産賃貸	263
	その他	1,887



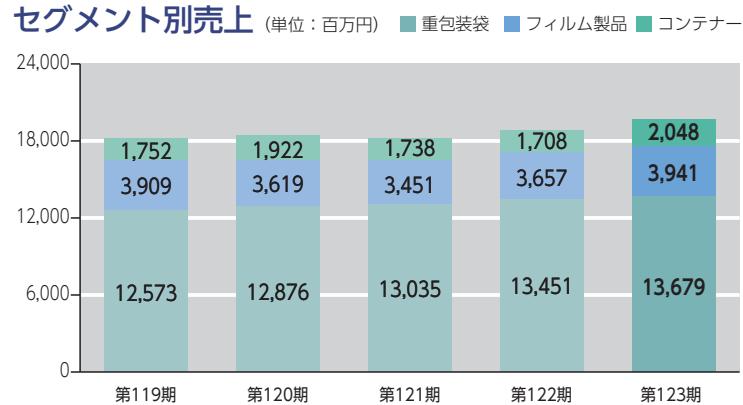
	主力製品	事業説明
重包装袋		<p>プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品等多様な物品を包装する紙袋、主として化学肥料を包装するポリエチレン袋を製造・販売しています。</p> <p>内容物の特性やお客様の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付与しています。</p>
フィルム製品	 (産業用)  (農業用)	<p>大型包装資材として利用される熱収縮フィルム「エスタイト」、防霧効果、光線透過性、流滴持続性、耐候性など、様々な特性を付与したパイプハウス展張用農POフィルム「キリヨケパーナル」。極めて優れた伸縮性と密着性、刺突耐性を備え、牧草などの畜産用飼料を安定して発酵させるサイレージ用ロールベールフィルム「エスラップ・グリーン」。いずれも当社設備の特長を活かし、よりお客様が使いやすく、高くご評価いただける製品となるよう研究を重ねて商品化したものです。当社の主力製品として長期にわたりご愛顧いただいています。</p>
コンテナ	<p>■ エスキューブ</p> 	<p>一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg～1t用のワンウェイ・フレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタック」を製造・販売しています。</p>

事業概況
<p>当社のクラフト紙袋の売上数量は前期比で△0.2%の微減でした。米麦袋と主力の合成樹脂が減少しましたが、化学薬品、製粉、砂糖・甘味、その他鉱産物等の増加で補いました。ポリエチレン重袋の売上数量は4.7%減少、中型袋も2.5%減少しました。タイ昭和パックス(株)他グループ各社は売上数量を増加させました。</p> <p>主たる原材料であるクラフト紙が夏場以降に大きく値上がりして業界の損益に大きく影響、当社グループもその対応に苦慮しました。</p>
<p>当社のフィルム製品の売上数量は、産業用は前期比で7.0%の増加、農業用は3.3%の増加で、合計では5.6%の増加となりました。産業用では、マスキングフィルム用のHQFや、発泡フィルム、アスベスト隔離シート等が伸びました。農業用では昨年不振だった沖縄向け農業フィルムが少し回復したほか、牧草フィルム、強化ポリエチレンフィルム等が伸びました。</p> <p>原材料であるポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂は、価格が変動し、年度前半は上昇しましたが、終盤は値下がり傾向となりました。</p>
<p>当社のワンウェイ・フレコンの売上数量は、前期の失注分を取戻して22.5%の大幅増加となりました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は前期比減少となりました。液体輸送用は、1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」が順調に数量を伸ばし、液体輸送用コンテナライナー「エスタック」も年度後半に数量を伸ばして通期では増加となりました。</p>

## トピックス

## 前期に続いて増収増益

当連結会計年度の当社グループは、得意先である国内の素材産業の生産がおおむね順調だったこと、原材料値上がりの影響の抑制に努めたこと、海外事業の好調が続いたことにより各セグメントとも売上を伸ばし、前期に続いて増収増益の結果となりました。



## マスキングフィルムの出荷数増加

当社では、スマホ・テレビ等の液晶画面を輸送時に保護するマスキングフィルムを製造しています。4年前に設備投資を実施し品質の向上および製造能力の増強を実現したことが取引先から評価され、出荷数が2年連続して増加しました。

## イージーオープン機能袋の出荷数増加

当社のクラフト紙袋出荷数量は全体では微減となりましたが、イージーオープン機能袋の出荷数は7年連続で増加しました。この袋はイージーオープン機能と、開封時の異物混入防止機能に特徴があり、市場のニーズに合致して、出荷増を続けています。

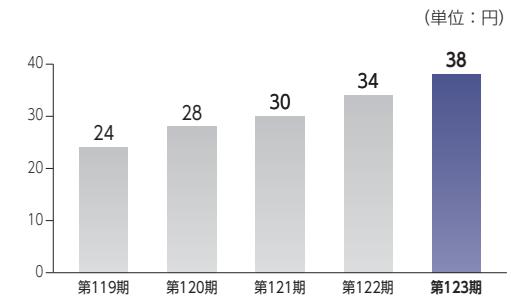
## 株主還元

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくため株主還元を以下の通り整えております。

## &lt;配当&gt;

当社グループは、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして認識しており、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、配当についても安定的に継続して実施することを基本としております。

この基本方針に基づき、第123期の親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を上回る成果を達成いたしましたことから、年間配当金を前期に比べて1株あたり4円増額いたしました。



注：2016年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株とする株式併合を実施しております。第121期以前の年間配当金額は株式併合後に換算した金額を記載しております。

## &lt;株主優待&gt;

3月末に500株以上所有の株主様に対し、新潟県産コシヒカリ新米5kgを、当社特製紙袋で包装して、贈呈しています。



新潟県産  
コシヒカリ  
新米5kg

## 製品紹介

## イージーオープン機能袋

イージーオープン機能を有し、口部をマシンで封緘する紙袋です。  
開封しやすく、マシンの端糸の混入防止に優れた紙袋です。

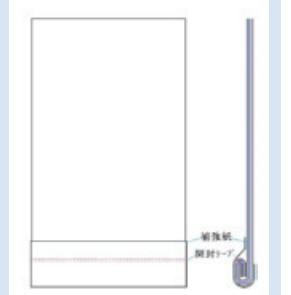
## 特長

- ① イージーオープン機能  
開封側には開封テープが付いており、開封テープを引くだけで開封できます。
- ② 異物混入防止  
マシンと違って糸くずが出ないので、異物混入が防止できます。

## 用途

石油化学製品、精米、飼料、食品添加物、その他

## 構造



## 会社概要 (2019年3月31日現在)

### ■ 設立

1935年12月20日

### ■ 資本金

6億4,050万円

### ■ 主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

### ■ 主要な事業所

本 社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号

電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)

工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

## 当社の株式の状況 (2019年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数 13,450,000株

■ 発行済株式の総数 4,450,000株

■ 株主数 989名

### ■ 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社サンエー化研	846	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	837	18.9
株式会社三菱UFJ銀行	135	3.0
特種東海製紙株式会社	130	2.9
株式会社みずほ銀行	80	1.8
農林中央金庫	75	1.7
昭和パックス社員持株会	74	1.7
株式会社鹿児島銀行	70	1.6
岡本圭介	50	1.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	50	1.1
王子ホールディングス株式会社	50	1.1
丸紅株式会社	50	1.1
みずほ信託銀行株式会社	50	1.1
明治安田生命保険相互会社	50	1.1
中越パルプ工業株式会社	50	1.1

(注)持株比率は自己株式(9,961株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

期 末 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 3月31日

中 間 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 9月30日

基 準 日

定時株主総会については、3月31日。その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関 お 取 扱 店 みずほ信託銀行  
フリーダイヤル 0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未 払 配 当 金 の お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります。)

単 元 株 式 数 100株

公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載。  
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

## 役員 (取締役および監査役) (2019年6月27日現在)

代表取締役社長	大 西 亮	
常 務 取 締 役	飯 崎 充	管理本部長
取 締 役	森 文 男	生産本部長
取 締 役	野 崎 和 宏	営業本部長
取 締 役	小野寺香一	フィルム事業企画部長
取 締 役	渡 淳 二	サッポロホールディングス(株)顧問
常 勤 監 査 役	佐 藤 隆	
監 査 役	宮 本 貞 彦	新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役
監 査 役	櫻 田 武 志	(株)サンエー化研 常務取締役

※渡 淳二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※宮本貞彦氏および櫻田武志氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。